



きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

日本一のハンバーガー店に迫る

ニュース



こども記者が取材



日本一になるまでの道のりを佐藤さん（右）に聞くこども記者

宮城県松島町に、日本一のハンバーガー店があるって知ってる？ 味や技術を競う全国大会で昨年優勝した「ハリーズジャンクション」です。今回は松島一小5年のこども記者4人が、観光エリ

アのお店や施設取材。まずはハンバーガー店のオーナーに味の秘密や、地域への思いに迫りました。（8面に関連記事）

◇ こども記者は赤間奏斗さん（10）、木村一沙さん（10）、佐藤大志さん（10）、林龍志さん（11）の4人です。

お店は2018年に開店。牛肉100%のパテをはじめ、松島産のトマトなど宮城県産の食材を

本格派、松島盛り上げる

使った本格派バーガーが特徴です。

オーナー兼店長の佐藤賢将さん（41）は「店名とキャラクターは長男にちなんでいます。いろんな人が集まる場所に、という願いを込めました」とこやかに話します。

「なぜ松島にお店を出したのですか」との質問には「本格的なハンバーガーを出す店はなかったし、生まれ育った松島を盛り上げたかった」と答えました。

前日から仕込んだ具材で、多いときで1日300個作ります。イベントでキッチンカーを出したときには、900個作ったこともありました。

「人と同じことをしたい」がモットーです。新メニューは「ふざけて考えている」と佐藤さん。昨年は「ずんだアイスクリームバーガー」を開発しました。

「日本一になるためにどんなことをしましたか」と問うと「そのとき



だけでなく、毎日の積み重ねが大事。人の3倍頑張る。人が寝ているときに頑張る。人が遊んでいるときに頑張ることです」。全国大会に出た際は、「正直、日本一になれると思っていました。自信があった」と振り返りました。

大会後、松島に帰ると、たくさんさんの地元の人たちが喜んでお祝いに駆け付けてくれたのがうれしかったそう。お客さんは3倍に増え、全国からも訪れるようになりました。

最近、インターネット通販も始めました。「お店に来られない人にも、店の味を楽しんでもらいたい」と話します。

「自分が好きなケーキやうどんのお店も開きたい。松島に、いろんなお店が入った道の駅のような場所を作るのが夢です」。すっかり頭の中で構想ができあがっている佐藤さん。既に新たな挑戦が始まっています。



この日 何の日

◇25日（金）世界溺水防止デー

世界で毎年23万6000人（推定）が溺れて命を落としている状況を踏まえ、2021年の国連総会で定められました。国の調査では、0～4歳が浴槽内、5～14歳は川、海などで亡くなる事案が多く発生しています。

きょうの紙面

- 2面 やさしいにほんごニュース
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 こども記者